

神経美学とインテリアの エビデンス調査及び研究

「インテリアとウェルビーイングを
コーディネートにより実現するための
科学的根拠となるエビデンスに関する実験と研究」

2024 - 2025

公益社団法人インテリア産業協会研究助成報告

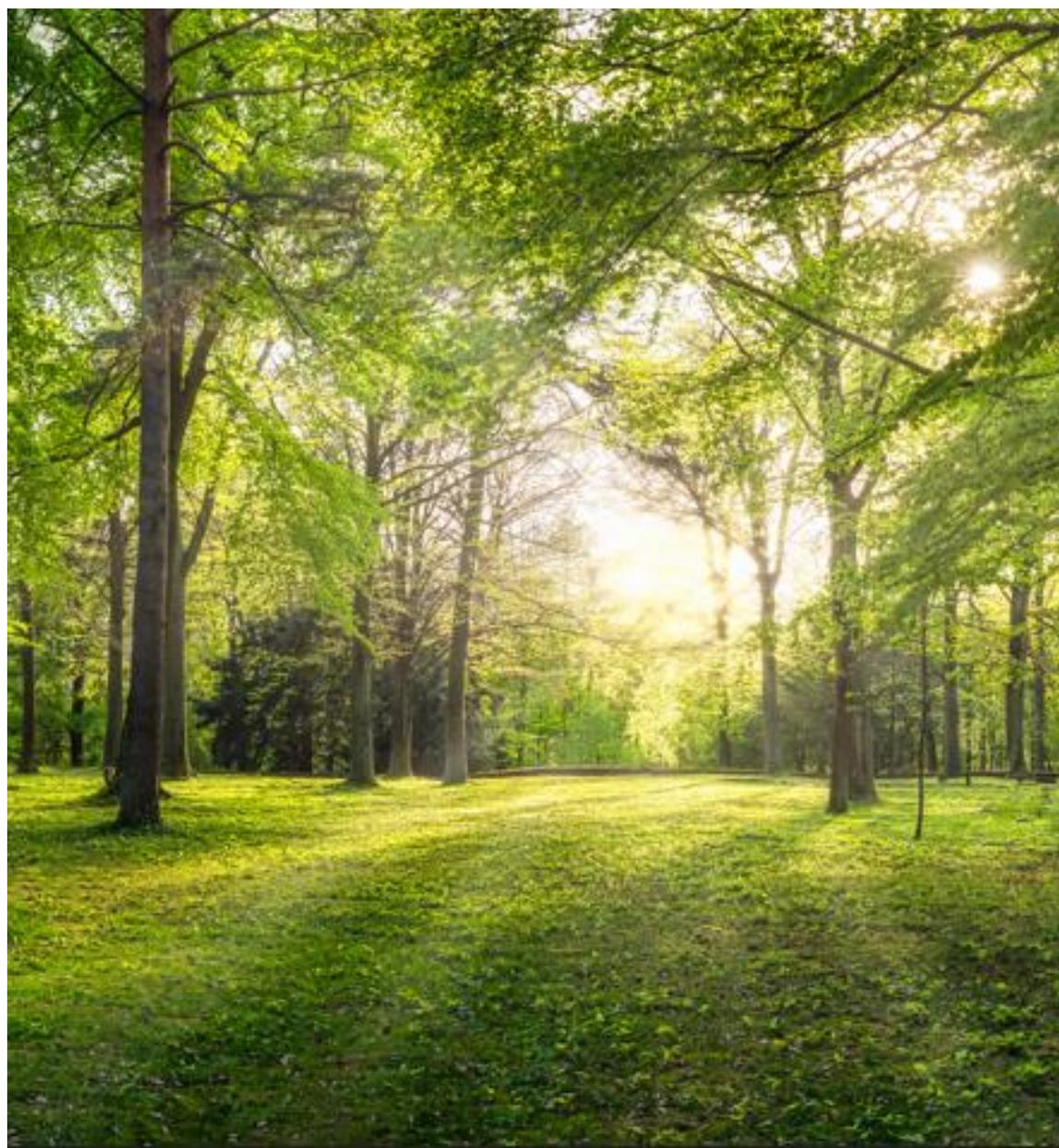




TABLE OF CONTENTS

- 01 神経美学
- 02 疲労科学研究
- 03 総論
- 04 脳シエルターでの効果検証発表
- 05 2024最新プロジェクト
- 06 2019-2023プロジェクト変遷

01 神経美学

神経美学とは

「神経美学」という芸術と感性に関する認知神経科学・心理学について、基礎研究応用研究を行っています。脳機能測定と実験心理学による定量的手法を駆使して、わたしたちの芸術的活動（作品の知覚、表現技法、価値づけ、芸術的創造性など）と認知プロセスとの関係、また感性的な体験・評価（美醜、崇高・畏怖畏敬、感動、ユーダイモニア的価値など）と脳の働きとの関係、さらに感性科学の実社会での問題解決への応用（例：芸術・感性体験による高齢者施設・公共空間のwell-being促進）などに取り組んでいます。

美しさや醜さといった感性は、芸術や外面的特徴だけでなく、倫理的判断や善悪判断、購買行動などにも影響を与える人間性の根幹の一つとされ、学際的・国際的にもこの研究領域は注目されています。美的感覚を脳活動計測に基づき客観的に解析する独創性の高い研究に取り組み、脳・神経科学と美学、芸術を有機的に繋げるユニークな研究成果をあげています。

関西大学 神経美学・芸術心理学研究室 神経美学・芸術と感性の心理学ラボHPより抜粋
<https://wps.itc.kansai-u.ac.jp/pan-lab/about/301>

ロンドン大学の研究結果により、 美しいものを見ると、脳の血管が広がって、 脳の働きが活発化すると知見

2014年11月23日
日本経済新聞 掲載記事

人が絵画や音楽を「美しい」と感じたとき、脳の一部分の血流量が増加する。英ロンドン大神経生物学研究所の石津智大研究員「神経美学」チームが米専門誌などに発表した研究結果が注

絵画や音楽「美しい」
脳の一部 血流増加
ロンドン大、医療に活用期待

目されている。この部位はうつ病や認知症などの疾患で活動が落ちるとされ、石津研究員は「『美』によって活性化させる手法は、医療の分野などで生かせるのではないかと期待する。石津研究員のチームは「美しさ」に反応する脳の動きを探るため、人種や宗教などが異なる22〜34歳の健康な男女21人を対象に、機能的磁気共鳴画像装置（fMRI）を使った実験を実施。肖像画や風景画などを16秒ずつ順に45枚提示し、美しいと感じたかどうかを示してもらった。その結果、美しいと感じた場合、美しくないと感じた時と比べ、前頭葉の一部にある「内側眼窩（がんか）前頭皮質」と呼ばれる領域で血流量が増加し、働きが平均で約35%活発化する共通性があることを確認した。

02 疲労科学研究

働く人の「疲労」と「ストレス」の課題

少子高齢化による人手不足により、企業にとっても生産性向上や持続可能な活動が経営課題となっています。そこで今、政府によって働き方改革や労働災害の防止が進められ、社会全体の取り組みとしても位置づけられています。また働く人のストレス軽減などで労働災害が減少すれば休職や離職などが予防でき、生産性向上が期待できるとされています。

疲労ストレス計の特徴

バイタルデータによる自律神経数値化とビックデータの分析により、自律神経のバランスと偏差値を示し、客観的な評価が難しかった「疲労・ストレス度」を可視化します。また、測定したデータはモバイル端末（タブレットやスマートフォン）で表示し結果を確認することができます。何かに集中しているとき、気合が入ったり、やる気になっていたり、没入していたりすると、本当は疲れていても疲労感を感じなくなる場合があります。

「疲労」と自分が感じる「疲労感」は異なります。

心拍や呼吸、消化、発汗、血圧などを制御している自律神経は疲労により異常な状態になります。すると、心拍間隔のゆらぎ（短くなったり、長くなったりする程度）が変化します。それを分析することで、自律神経のはたらき、疲労度合いがわかります。

自律神経機能の客観的評価については世の中に様々な測定・判定手法があります。心電図や脈波などを用いて心拍変動解析を行うことで、交感神経や副交感神経の活動や自律神経バランスを評価する方法が一般的によく知られており、この心拍変動解析による自律神経機能評価については、疲労と多くの相関を持つことが研究により確認されています。



03 総論

小調査・研究が必要な背景・理由

「神経美学でストレス緩和！」この体験実験を始めて5年。2019年以来、主に東京ビッグサイトの会場を実験場とし実施してきた。この参加型体験実験では、自律神経の疲労度を調べる事が出来るストレス機器を使用し、ストレスチェックを行う。使用するのは(株)疲労科学研究所と(株)村田製作所の共同チームが開発した機器。必ず体験実験後は、体験者にアンケート調査も、実施している。

インテリアのトレンドは、時代と共に変化する。今後は、見た目美しいインテリアから「エビデンス」を基にコーディネート環境を創出することが、不可欠な時代になった。特にインテリアに科学的根拠が求められる領域は、必須と考える。

痛感させられたのが、1994年でのプロジェクト。国立大学附属病院のインテリアを担当させて頂く機会を得て、プレゼンテーションする際、理事長をはじめ、幹部より投げられた質問。なぜインテリアに、お金を掛けなければいけないのか。それが原点で、開始した科学的根拠の裏付け。[Evidence based Design Orient®]の商標登録も取得した。以来、この科学的根拠の立証を基本に据えインテリアコーディネートに取り組むことを、常に心がけている。

世界に蔓延したコロナも終息し又、インテリアへの関心は高まってきた。ただ、このコロナ禍で、世界の人々の求めるインテリアは変化した。これからはインテリアにおいてもウエルビーイングを無視する事は出来ない。今日ではインテリアコーディネーターもインテリアにおけるコーディネーションの科学的効果を率先して追求した解決が求められてきている。

私達は、引き続きこの調査を継続し科学的根拠を明らかにしたい。それにより得られる「エビデンスデータ」を集め、広く公開し、今後のインテリアにおける科学的根拠の重要性を明らかにして、新しい時代にふさわしい、信頼されるインテリアそして、その専門性を備え、社会貢献出来るインテリアコーディネーターを目標にする。

インテリアとストレス緩和の関係を、2019年より体験実験を継続し、調査してきた結果、対象物のアートを始め、生きた室内植物などを、[脳シェルター]と呼ぶ、小空間で5分程ソファに座り眺めてもらうだけで脳が休まり、疲労が軽減されることがデータで、確認出来るようになった。脳シェルターの体験実験で採用したアートは、癒されるばかりではなく元気回復につながる事が、体験実験からもわかるようになってきた。

テーマの目的

今回テーマは「バイオフィリック-アートフォト」アートの中でも特に、ストレス緩和の最も効果的な解決法の、生命あるもの、特に観葉植物などグリーンの効果に注目した。生きた植物を見ると脳が休まり、疲労が軽減する。多くの体験者は、癒され、ストレスが緩和されるが、維持管理の難しさにも直面した。実際インテリアに施工すると、手入れを含め日常の手間もかかる。普及させるにはハードルが高いのではないかとの意見も多々あった。今回は視点を変え、「バイオフィリックアート」を広く解釈。[森林のアートフォト]が、生きた植物と同じ効果が得られる事が、立証されれば、より多くインテリアへ普及させられるのでは、という仮説を立て、新しい体験実験に挑戦することを考えた。今まで通りの生きた壁面緑化アートも継続展示。主には、新たにエビデンスの摂れる[森林のアートフォト]を[脳シェルター]の小空間の中で体験実験アートとし採用する。

調査・研究活動の計画内容

今回は「脳シェルター」がその調査、研究の実験場となる。コンセプトは、一貫として変わらず、脳神経科学の領域から生まれた「神経美学」が根底になっている。2014年英国ロンドン大学神経生物学研究所が発表した脳神経科学の新しい専門領域。ひとは美しいものを美しいと感じると、脳の血管が広がり、血流が良くなり、認知症の進行を遅らせられる事が出来る。

この研究発表は、メディアを通じ世界中に発信された。私達は、英国に申し出、ロンドンに出向き、その知見を活用する許可を得、それ以来、体験実験を続けている。その結果、この実験成果を実証させた科学的データの見える化が可能になり、以来[脳シェルター]と名付けた小空間を活用した体験実験を、日本経済新聞社の支援を得、毎年実施している。

テーマは、コロナ禍にも遭遇し、体験実験は多少変化せざるを得ない事態も発生したが、今日までにおよそ1000に近いデータが集まっている。

今回の応募で、6年目となるこの貴重な機会。引き続きエビデンスの為の体験実験を実施、その成果を公表、広く活用出来るステージに進むことを目標にする。会場は町田ひろ子アカデミー内に設置した[脳シェルター]で実施。外苑前に位置する、新アカデミーのインテリアは「神経美学」とその体験実験から得られたエビデンスを、追求する趣旨のもと、可能な限り、今回の実験に相応しい環境創りを心がけた。例えば、サーカディアンリズムに配慮し、自然光を室内に、計画段階から取り入れるプランで、インテリアを施工した。

その結果、1日を過ごす生徒たち、そして日々業務を行なうスタッフを始め、私達にも格好の体験実験場になった。冒険ともいえるインテリアだが、良い挑戦の場にもなっている。今まで、実施してきた「脳シェルター」という小空間の実験とは異なるリアルに働くオフィスという実験場。ところがわずか5ヶ月経ったばかりにも関わらず、明るくさわやかな空気感で、かなり環境の変化が起きている。既にスタッフ、生徒たちがその生活環境の中で、穏やかに過ごす事が出来る様になっている感覚が生まれている。残念ながら、まだ「エビデンス」の体験実験は実施していない。感じるというステージ。「エビデンス」は取れていない。その為、このアカデミーのオフィスを、体験実験場として新たに[脳シェルター]を設置し、実施する事にする。ここでは大きく3つをテーマとして取り上げる。

テーマ1

「脳シェルターによる小空間の体験実験」の継続実施。

幸いこの新アカデミーには、2023年12月に参加した「エコプロ2023」その時に制作、継続して体験実験が実施出来る「脳シェルター」をそのまま移設、設置してある。その理由は、展示会で実施した「ストレスチェック体験」を継続実施しなければならないという状況が、発生している事。この時、展示会での体験の呼びかけは、嬉しい誤算が発生。会期中の3日間に、ストレスチェック体験希望者が殺到し、長蛇の列が出来、700名近い希望者が並んだ。簡易ストレスチェックは無事終了出来たが、通常の正式な、[脳シェルター]でのストレスチェック体験を受けられない来場者が溢れるハプニングが発生。この体験実験は後日対応する事で、エコプロ展示会は終了。その結果、コーディネートの体験実験を継続する必要性から既に新アカデミーの一區画に「脳シェルター」を設置。希望者は、予約すればストレスチェック体験実験が受けられる環境を整えたこともあり、その体験実験場所を活用する。

テーマ2

予約を原則とするが、今回は1ヶ月という期間延長で企画体験実験の[脳シェルター]でのアートのテーマを、[木漏れ日の森のアート]と決定し、実施する。

テーマ3

[ストレスアナリスト]がエビデンスデータを解析(株)疲労科学研究所の指導を得て、エビデンスを解析し、今まで同様にエビデンスデータを分析し解説を行う。それを担当し対応するのが、[ストレスアナリスト]エビデンスの解説をする訓練された資格者が対応する。その人材、[ストレスアナリスト]を、私達アカデミーでは、2019年以来青山スタイルと命名したインテリア実務チーム全員が、資格を取得し、プロジェクトに積極的に活用している。特に広島の大規模高齢者福祉施設では、大きく一般紙のメディアにも取り上げられ、注目されている。5年間継続活動した事により、メディアからも期待されている。この体験実験の成果を広く公表出来るこの機会を活かして、インテリアコーディネーター資格者にもエビデンスの重要性を理解してもらい、更に、社会貢献出来る専門職として認知してもらおう機会となる事を目指している。

想定する、調査・研究の成果（成果物、成果活動）とその具体的活用先

5年にわたる体験実験は、予想以上に多くの方々からエビデンスデータへの大きな評価をいただいた。今回の体験実験を通して、実施するのは、アートの中でも「バイオフィリックアートフォト」2019年12月実施のIFFTでの体験実験以来、継続し既に大きな手応えを得ている「壁面緑化のVG-ART」。

今回は、生きた室内植物を使わず、「アートフォト」で、体験実験を実施。
[脳シェルター]の小空間とはいえこの体験実験は、初めて挑戦する試みとなる。この体験実験が実施出来、想定通りの成果が得られれば、新しいインテリア商材を誕生させる事が可能になる。

そこで実施した体験実験は[ストレスアナリスト]がエビデンスによるデータをもとに解析し公開する。体験実験場となる小空間、[脳シェルター]でどのようにストレスが変化するかを計測し、更に体験者への詳細なアンケート調査も引き続き実施し、公開する。

ここで初めて「体験実験」でのエビデンスが公開され、インテリアとウェルビーイングの関係につながる、エビデンスデータを基に実験成果を公開する事が出来る。今回は1ヶ月期間延長で企画-体験実験の[脳シェルター]でのアートのテーマを、[木漏れ日の森のアート]と決定し、実施。

成果を公開することによる期待される効果

コロナ禍以降、インテリアコーディネーターへの期待は、大きく変化している。インテリアをウェルビーイングの視点から捉え調査する事で、新たなインテリアへの需要が生まれ、広がる事が期待される。又、エビデンスが立証出来る、より専門性を備えた人材が、求められるところに辿り着くのではないか。その人材は[ストレスアナリスト]という新しい使命が、加わる事により、専門性のある資格者となり評価される。更にはエビデンスデータが、新しい時代への提言となり、インテリアへの社会的発言力と信頼が加わってくる。業界だけに留まらず、社会の人々から信頼される資格となる。

テーマの目的や結果(成果物、成果活動)が 公益性を有する説明

インテリアコーディネーター資格が誕生して40年。

インテリアコーディネーターは、これから何を指して進むべきか。その問いに自問自答しながら活動していた中で、「神経美学」という脳神経科学の科学的解決との出会いがあった。「神経美学に基づく科学的なアプローチ」は、今大きなうねりとなって世界に広がっている。コロナ禍以降、ひとの生き方、暮らし、そして住まいへの意識も大きく変わってきている。

インテリアにより、健康にそして幸せに暮らせることが出来る[ウェルビーイング]というキーワード。

改めてインテリア環境を、「ひと」を中心にコーディネートを捉え直す事の大切さを教えてくれている。私達は、エビデンスデータを分析、解析することにより、インテリアコーディネートの真の価値を明らかに出来る一助になりたいと願って活動している。更には、インテリアを、環境と人、健康など、より広い視点から取り組むことをテーマにする事で、新たな市場が、広がる。ここに社会貢献をという新たな価値を創造する事が出来る。

[Evidence based Design Orient[®]] 科学的根拠のある、エビデンスによる新しいインテリア環境を創出する。

それをより早く進めることにより、日本の超高齢社会が明るい又、世界のビジネスモデルとなり、世界に発信できる。その結果、住宅に限定されずオフィス、福祉、医療、商業空間のインテリアに新しい概念としての「エビデンス」価値が創造出来る。「インテリアとウェルビーイング」という世界テーマのリーダーとなり、広がっていく事になる。

(公益社団法人)インテリア産業協会にとっても、新たな社会貢献事業となり、大きく世界に発信して頂ける一助となればと願っている。

04 脳シェルターでの結果検証

PROJECT
2024-00

2024年度の脳シェルターによる疲労軽減効果実験は、町田ひろ子アカデミーが開発した脳シェルターを活用し、ストレス軽減効果を検証した。

その時採用、製作した脳シェルターは形状が
W1800×D2700×H2150。

その仕切りにはカーテンを採用し、開発させる小空間を活用。

「森林のアートフォト」で5分間体験をしてもらい、その前後の自律神経機能を測定した。

方法：

ストレスチェックの方法は、2通り各90秒の疲労度測定チェック体験。そして、「森林のアートフォト」の体験者による脳シェルター体験前後を測定し比較する。

考察：

本実験では5分間の脳シェルター体験で、自律神経バランスの高い人ほど副交感神経機能の低下がみられた。

短時間の脳シェルターでの休息ではストレスの高い人ほどストレス軽減やリラックス効果がみられることが示唆された。

脳シェルタータイプ別評価では、被験者が少なく引き続き測定を実施し、効果を検証していく。

業務報告書

神経美学とインテリアのエビデンス 調査及び研究

「インテリアとウェルビーイングを
コーディネートにより実現するための
科学的根拠となるエビデンスに関する実験と研究」

【2024年7~9月 実施実績】 参加者数 : 93人

2024年7月~9月に行った「ストレス計測」は、皆様のご協力の元、多くの方に
ご体験いただくことができました。ストレスチェックデータをまとめさせて頂き、
その様子と集計結果を合わせて、ご報告させていただきます。
ご査証よろしくお願い申し上げます。

2024年10月
株式会社町田ひろ子アカデミー

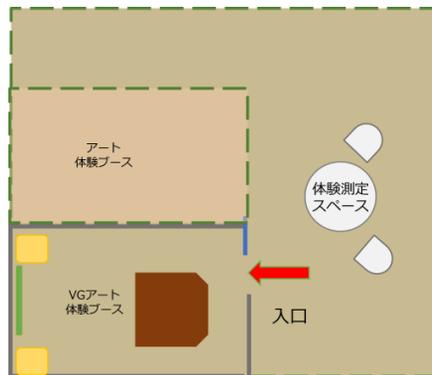
事業概要

- ◆ 場所：町田ひろ子アカデミー新校舎
- ◆ 協賛出展の企業様：
 - * 株式会社ダニエル * 株式会社プラネット * フューチャーライト株式会社
 - * リンテックサインシステム株式会社 * 株式会社豊田プロダクト
 - * 村田製作所株式会社 * 株式会社疲労科学研究所
- ◆ テーマ：「脳シェルターでアートフォトで木洩れ日の森体験」
- ◆ 展示内容：「脳シェルター」プロトタイプ1台 アートフォト
- ◆ 体験方法：① 「脳シェルター」の体験は予約制、1人15分間程度、
アナリストよりbeforeとafterの測定結果を解説
※体験ブース【ART PHOTO】
 - ② 予約制、1人3分間程度
- ◆ その他：① 小鳥の鳴き声音楽をグリーンのブースに流す
 - ② クロモジの芳香蒸留水をアートのブースに事前にスプレーする
 - ③ 測定用テーブルはバイオフィリックデザインの樹脂テーブルを使用

ブースレイアウト

■ ディスプレイ小物リスト

-  アートフォト×1
-  体験用チェア×1
-  LED照明×2
-  宣伝ポスター×1
-  プロトタイプブース
サイズ W3750×D2700×H2150
オーニング (シアカーテン生地)
体験中 (5分間) のみ



© 2022 Waseda Hirose Academy. All rights reserved.

ブースセッティング



© 2022 Waseda Hirose Academy. All rights reserved.

測定機器 疲労ストレス計MF100



疲労を客観的に見える化

医学的背景のあるアルゴリズム

非侵襲で簡便な測定

安静閉眼でセンサを両手で120秒間握るだけ

心拍変動を高精度に測定

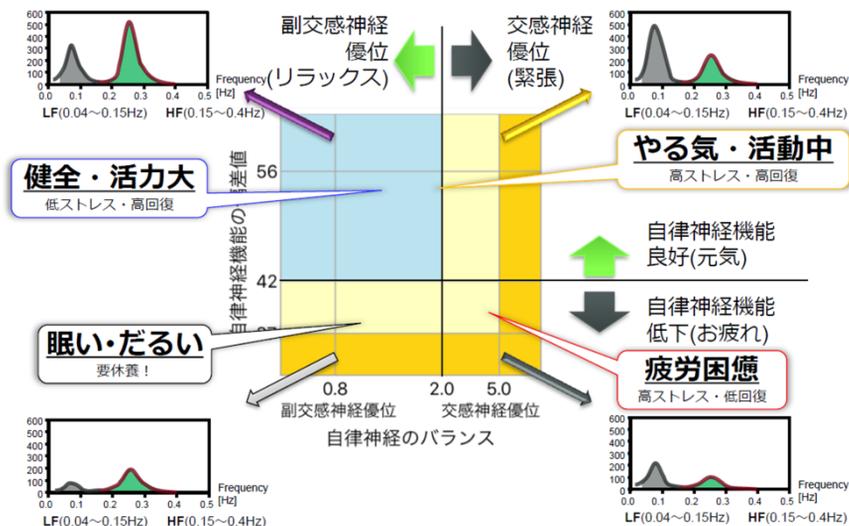
電気・光学2方式により
心拍/脈拍を欠測なく測定しゆらぎを分析



血圧計や体温計のように
ココロの状態 を 見える化

© 2022 Michiba Hiroko Academy. All rights reserved.

自律神経機能のバランス解析グラフ



体験方法①

「脳シェルター」でストレスチェック

事前・当日予約制（1人約15分）

Before測定 + 5分間体験 + After測定 + 結果解析

© 2022 Maehata Heroku Academy. All rights reserved.

脳シェルター : ART PHOTO



AP製作サイズ： W900×D15×H19700



リクライニングチェア
W810×D980×H1070×SH480

© 2022 Maehata Heroku Academy. All rights reserved.

2024年10月31日現在

「脳シエルター」体験者の測定結果

合計体験者数：57名

(男性11名、女性46名)

7月合計	20代～	30代～	40代～	50代～	60代～	70代～
34名	1名	6名	12名	13名	2名	0名
8月合計	20代～	30代～	40代～	50代～	60代～	70代～
11名	2名	1名	3名	2名	2名	1名
9月合計	20代～	30代～	40代～	50代～	60代～	70代～
12名	1名	1名	2名	4名	4名	0名

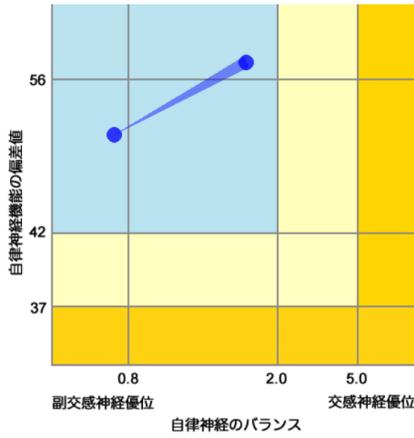
参加者の体験感想

- ・5分は少し長いかも、3-4分で眠くならない程度がベスト
- ・疲れている自覚はありましたが、測定結果として出ると、周りの人の理解も得られ易くなりそうで、可視化の大切さを感じました。
- ・とてもリラックスできました。お施主様や職場の方にお伝えします。
- ・オフィスでの活用も望ましいのですが、最近は何事業主も多くなっているため、個人含めた経営者に導入できる機会も考えたいと思いました。
- ・寒かった
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・香りの効果が良かったです。癒し効果がありました。
- ・蛍光灯の真下でないか、もしくは消灯した方が良い気がします。
- ・アートフォトパネルが全面にあったら...また結果比較してみたいです。
- ・一枚のアートフォトはちょっと幅が狭いかもしれません。ブース内の壁パネルに全面に貼った方がより効果的だと思います。
- ・仕事中にリラックスできる場所や時間があることの重要性を感じました。
- ・大変勉強になりました。
- ・初体験でしたが、良い結果が出て良かったです。癒されるスペースは必要だと思います。
- ・定期的に受けてみたいです。ありがとうございました。
- ・もう少し時間が長く方がよかった
- ・面白い結果でした、
- ・大きく変化する、他の方の情報も知りたいと思いました。
- ・普段は長く感じる5分が短く感じました。デジタル機器に触れない時間は久しぶりでした。
- ・測定結果が自覚と一緒に面白いなと感じました。
- ・測定する度に速度結果が変わるので興味深いです。
- ・アロマ=森の香りでないと思った。もっと土の香りがリラックスできると思います
- ・湿度が高かった。森に入った時のひんやり感があると良い。
- ・明るさが気になって、集中し辛かった
- ・薄暗い程度が良いのでは
- ・今の状態が数値で知ることができてよかった。測定前後のスコアの違いにびっくりしました。緑(森林浴)の効果、脳の働きに良いと分かりました。

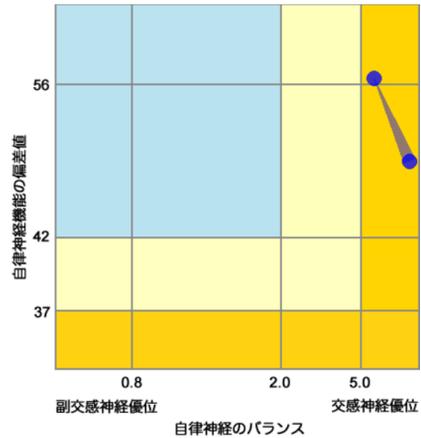
05 検証計測結果

PROJECT
2024-06

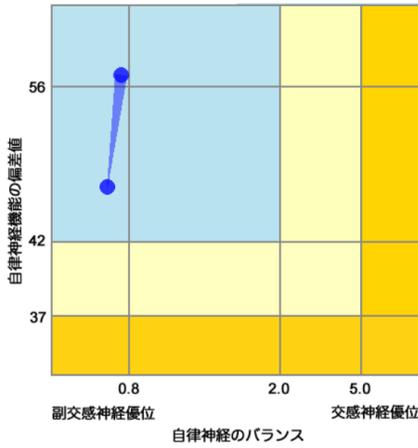
T01: 女性、48歳



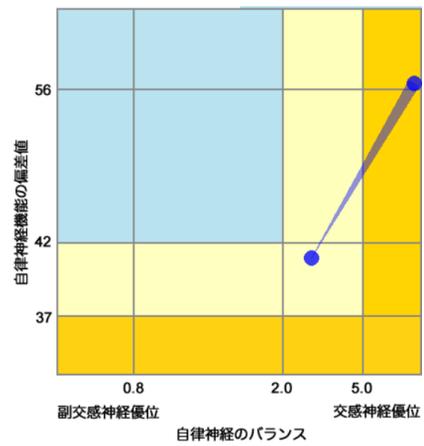
T02: 女性、59歳



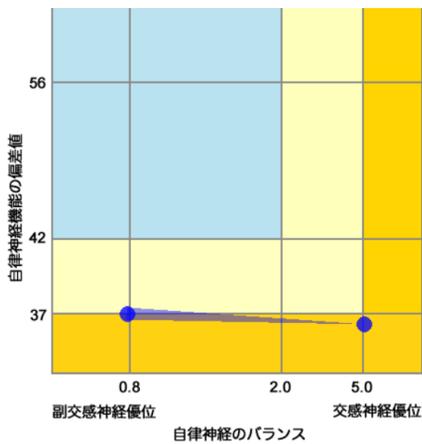
T03: 女性、40歳



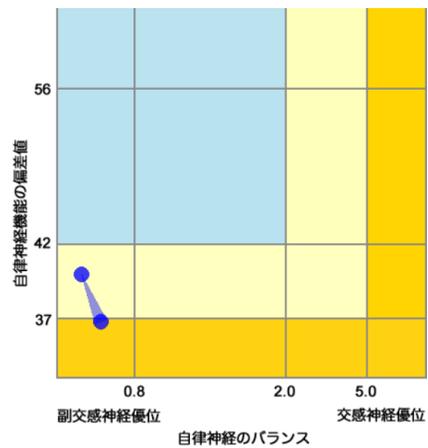
T04: 男性、53歳



T05: 女性、22歳



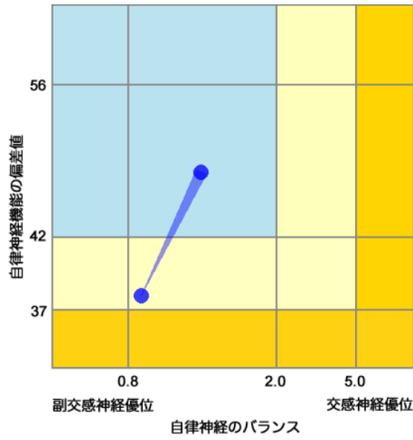
T06: 女性、42歳



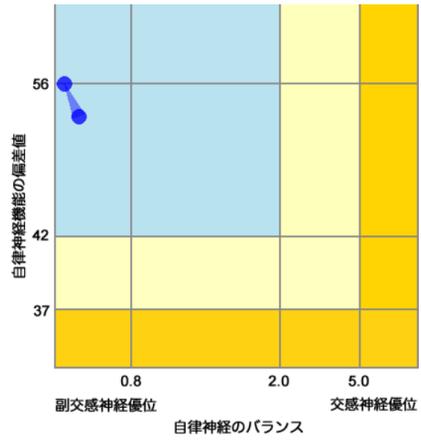
05 検証計測結果

PROJECT
2024-07

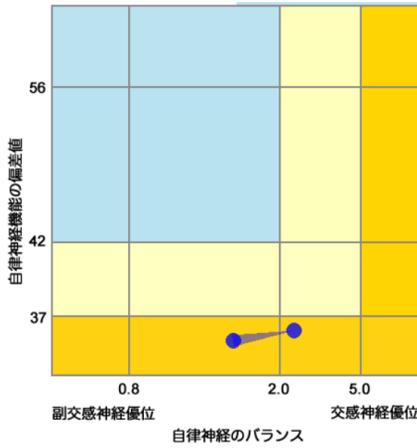
T08: 男性、46歳



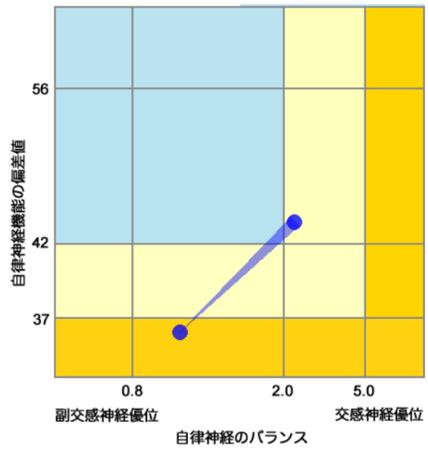
T09: 女性、57歳



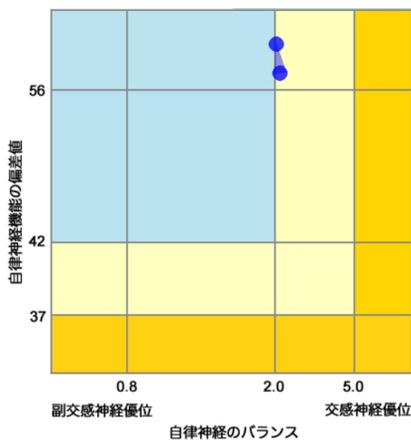
T11: 女性、47歳



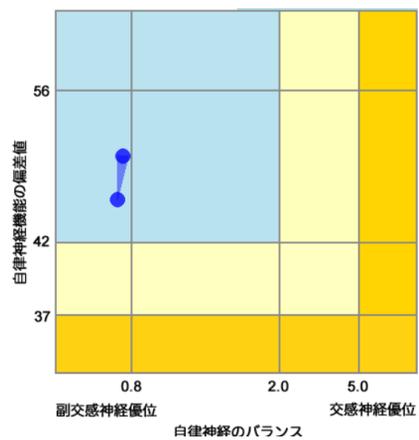
T12: 女性、53歳



T13: 女性、42歳



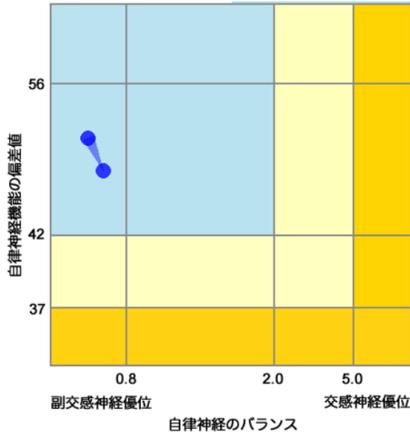
T14: 女性、47歳



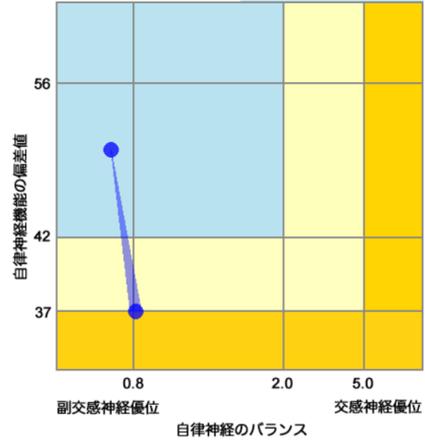
05 検証計測結果

PROJECT
2024-08

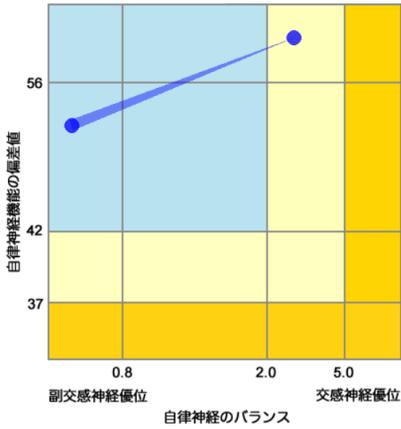
T15: 女性、56歳



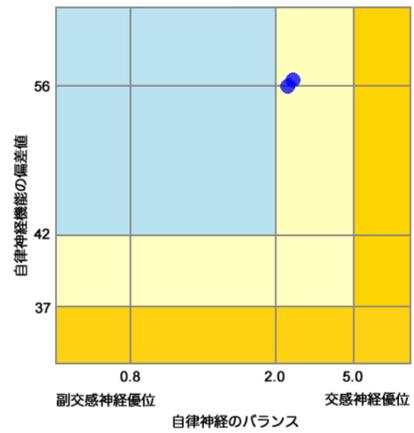
T16: 男性、59歳



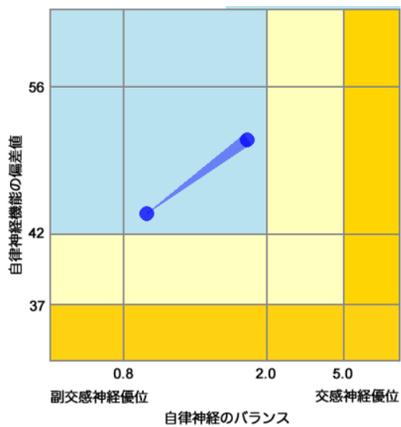
T17: 女性、36歳



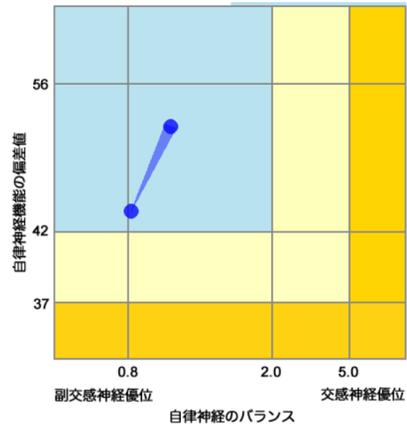
T18: 女性、43歳



T19: 男性、34歳



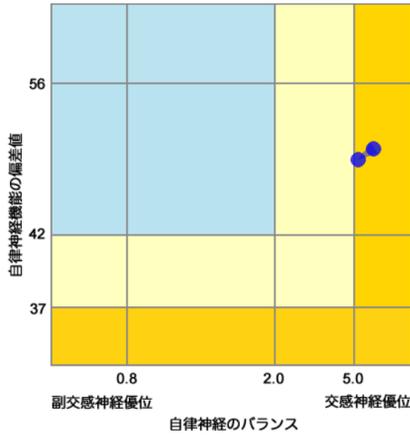
T20: 女性、64歳



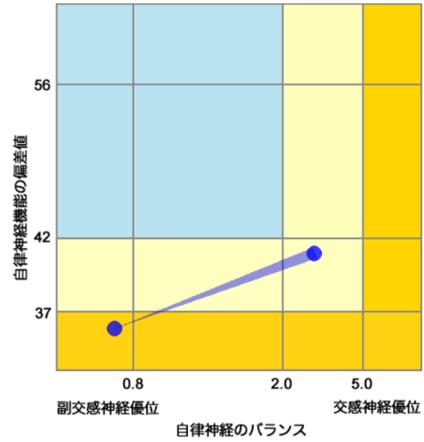
05 検証計測結果

PROJECT
2024-09

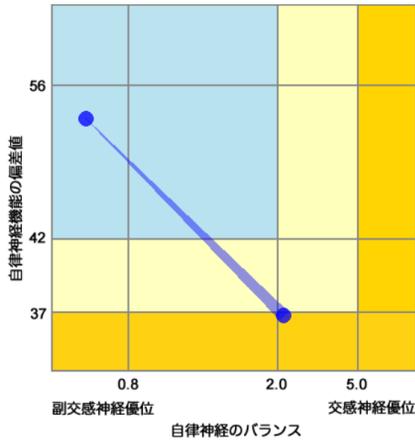
T22: 女性、53歳



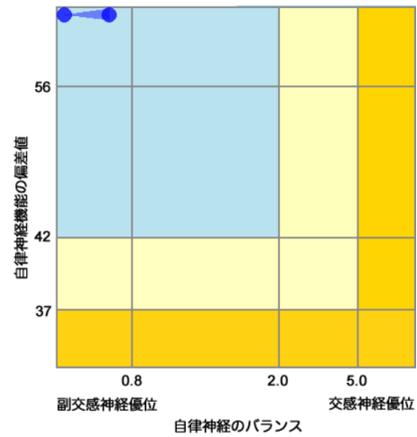
T23: 男性、53歳



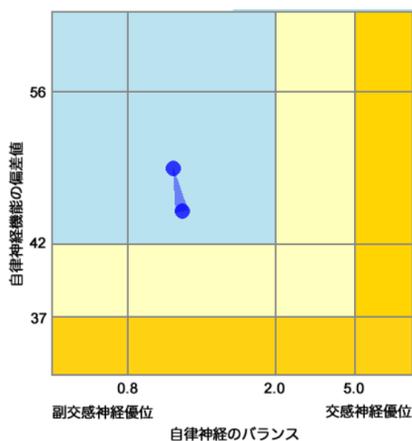
T24: 男性、56歳



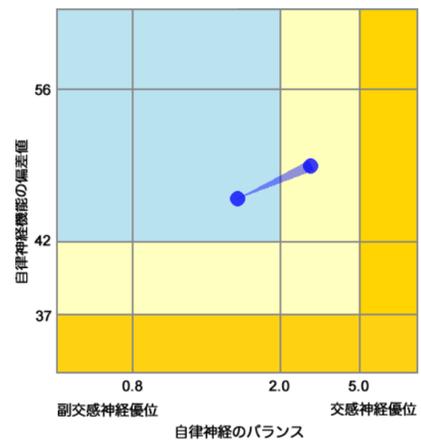
T25: 女性、51歳



T26: 女性、34歳



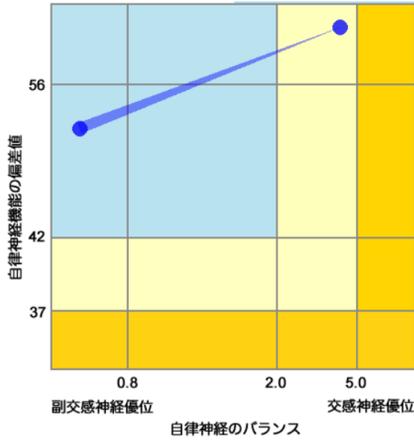
T27: 男性、49歳



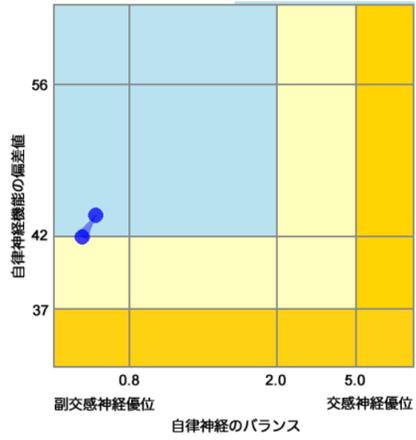
05 検証計測結果

PROJECT
2024-10

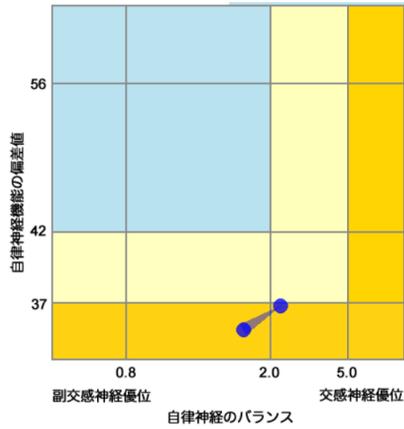
T28: 女性、60歳



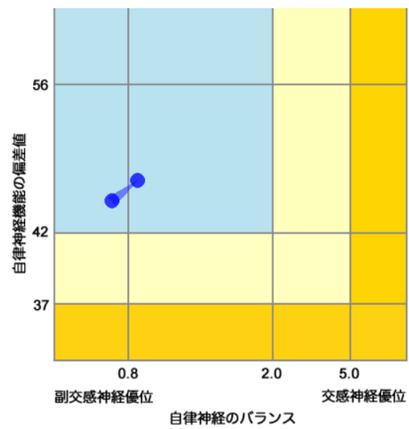
T29: 女性、54歳



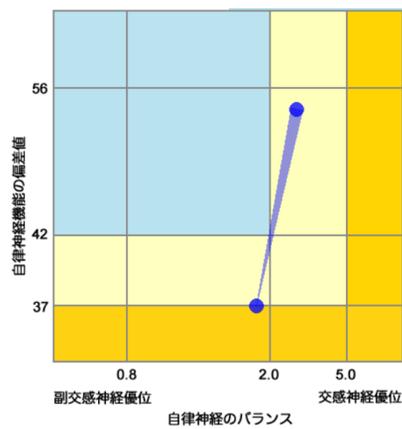
T30: 女性、50歳



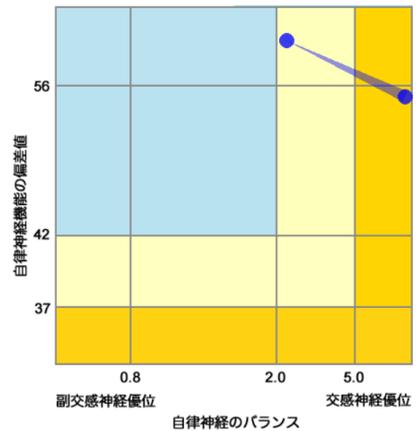
T31: 女性、47歳



T32: 男性、57歳



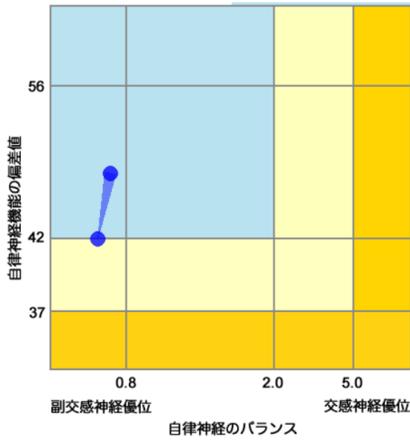
T33: 女性、50歳



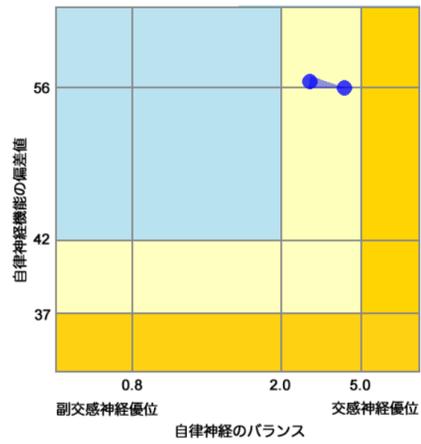
05 検証計測結果

PROJECT
2024-11

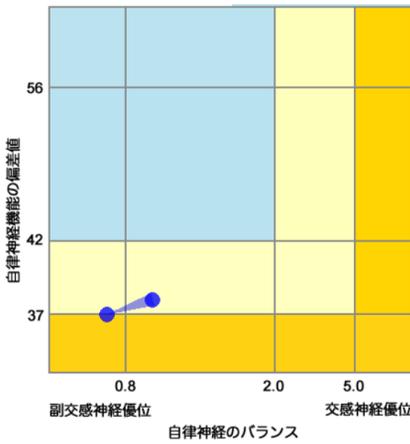
T34 女性、48歳



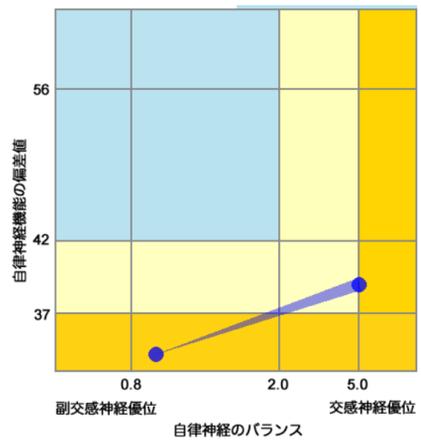
T35: 女性、46歳



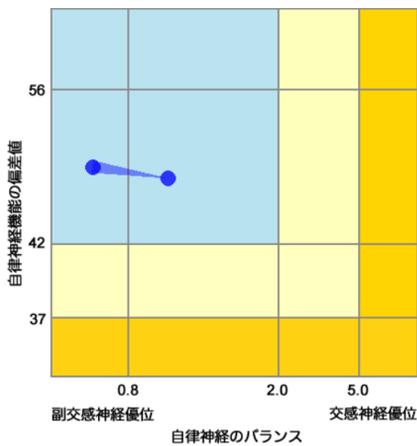
T38: 女性、25歳



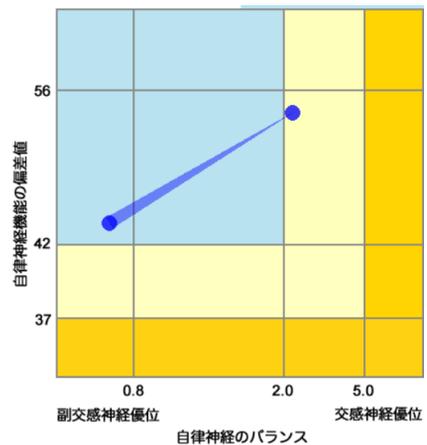
T39: 女性、46歳



T40: 女性、25歳



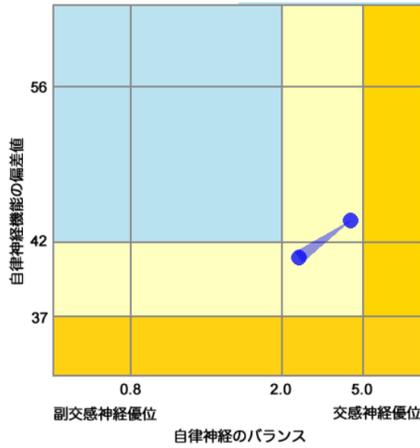
T41: 女性、32歳



05 検証計測結果

PROJECT
2024-12

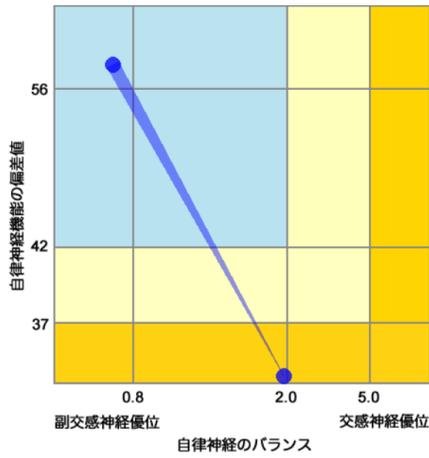
T43 女性、63歳



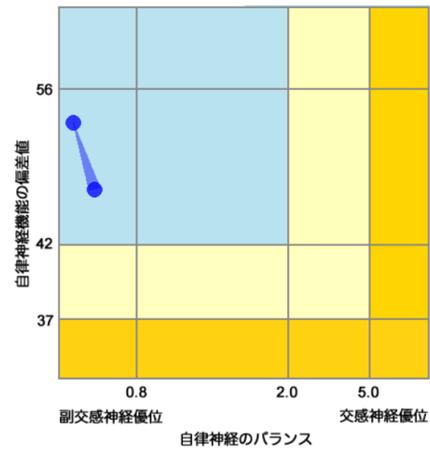
T44: 女性、56歳



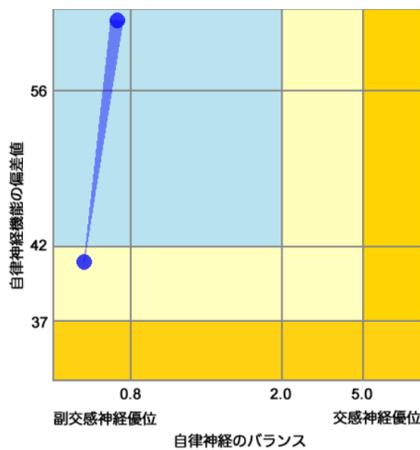
T47: 女性、57歳



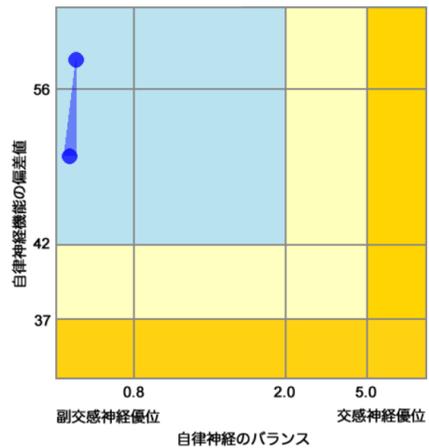
T48: 女性、63歳



T49: 女性、63歳



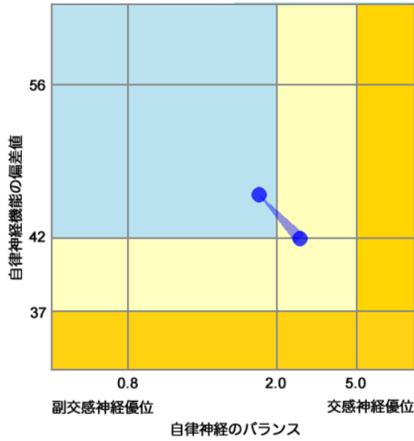
T50: 女性、58歳



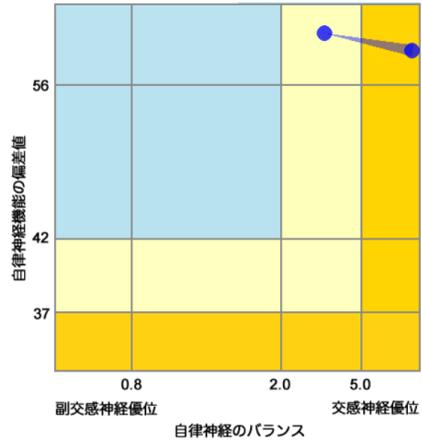
05 検証計測結果

PROJECT
2024-13

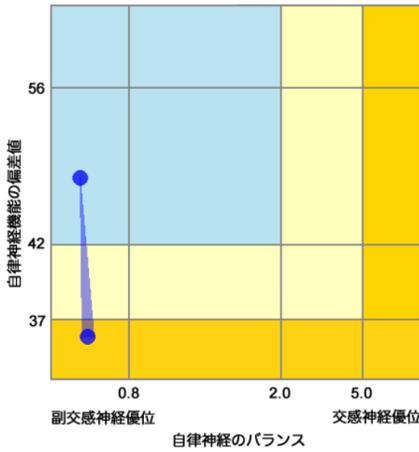
T51 女性、29歳



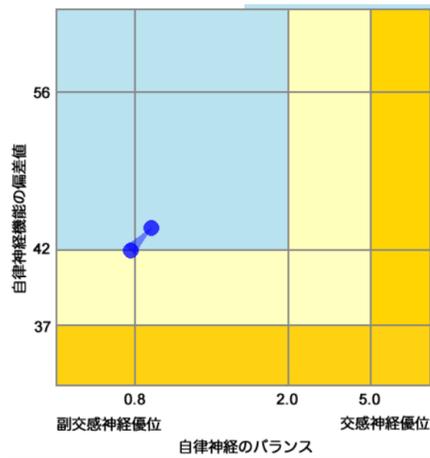
T53: 男性、72歳



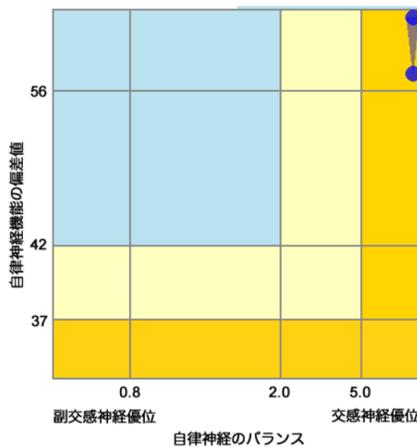
T55: 女性、35歳



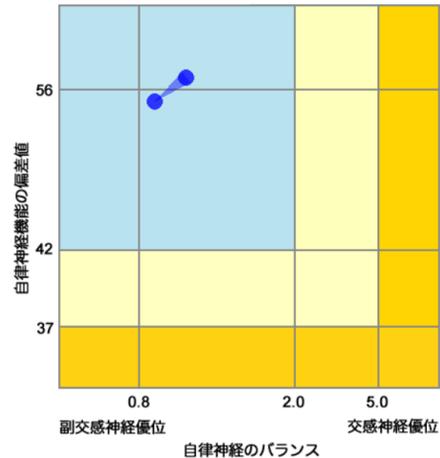
T56: 女性、35歳



T57: 男性、53歳



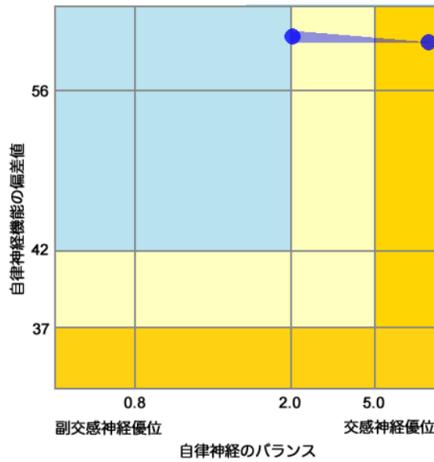
T58: 男性、50歳



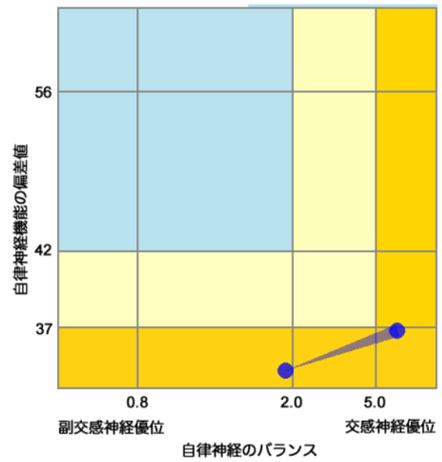
05 検証計測結果

PROJECT
2024-14

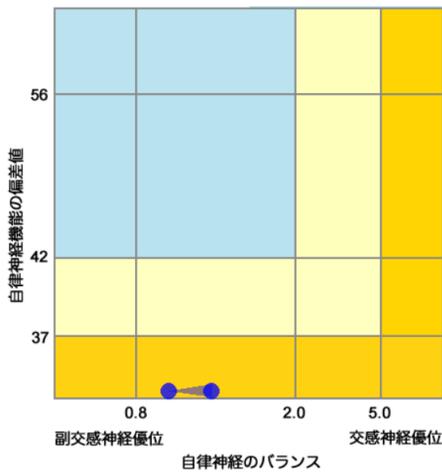
T59: 男性、62歳



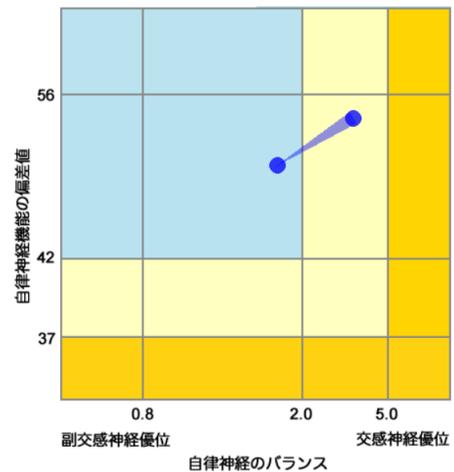
T60: 男性、54歳



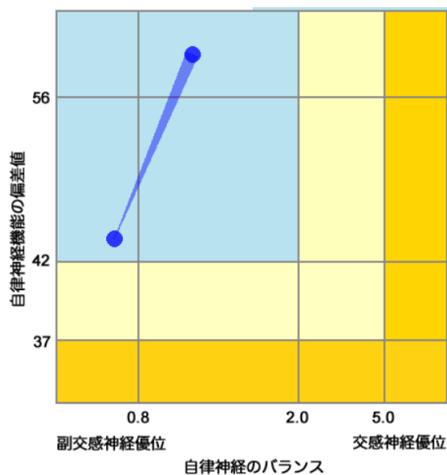
T61: 男性、57歳



T62: 男性、51歳



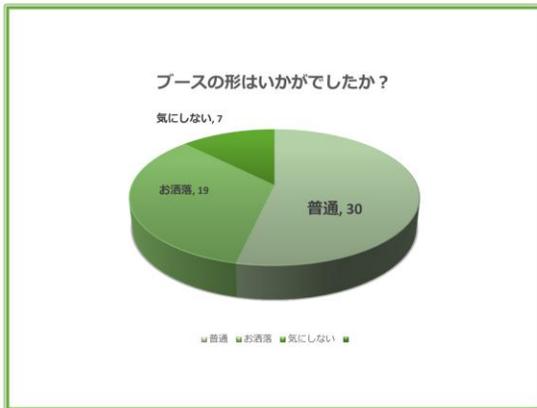
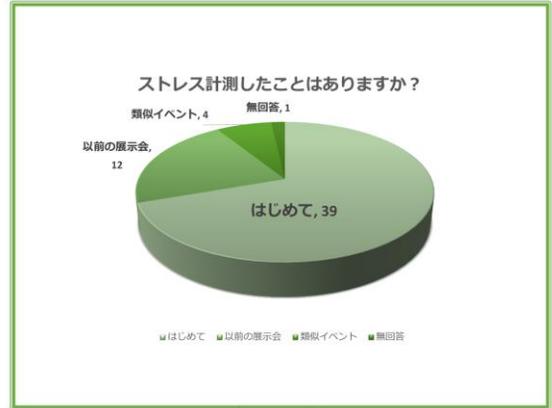
T63: 男性、75歳



備考：
57名体験者のうちの
53名分の結果データです。

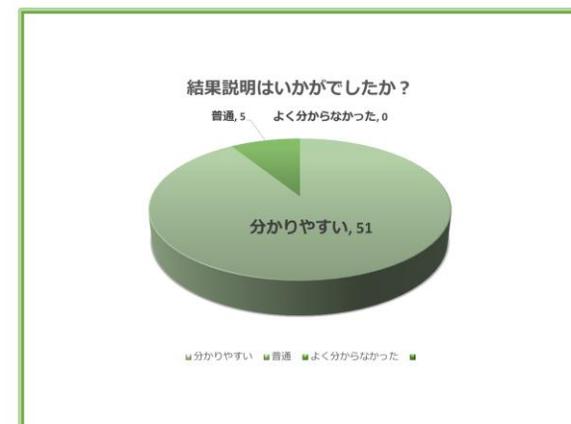
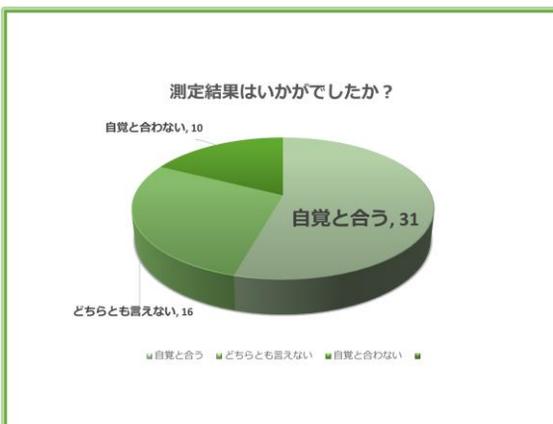
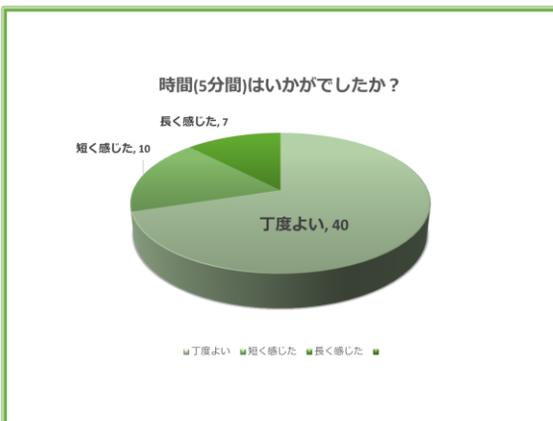
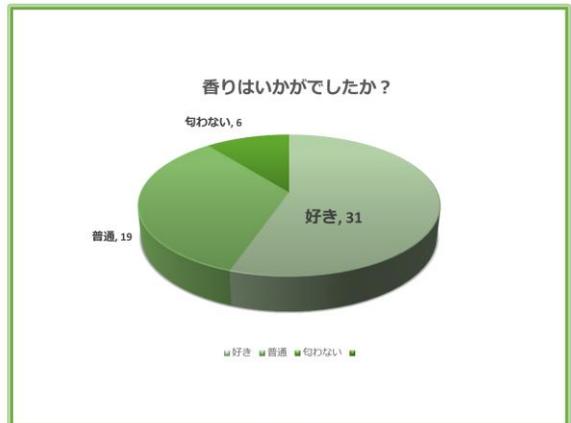
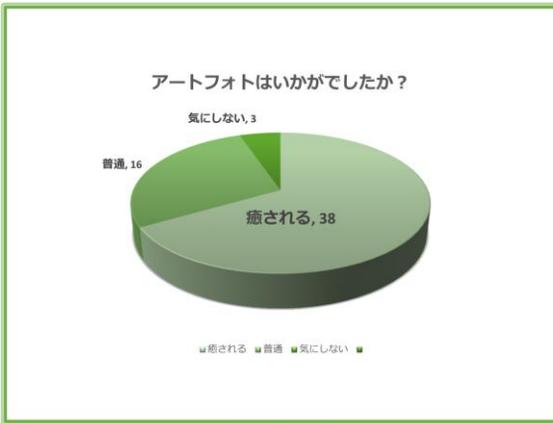
05 アンケート調査集計

PROJECT
2024-15



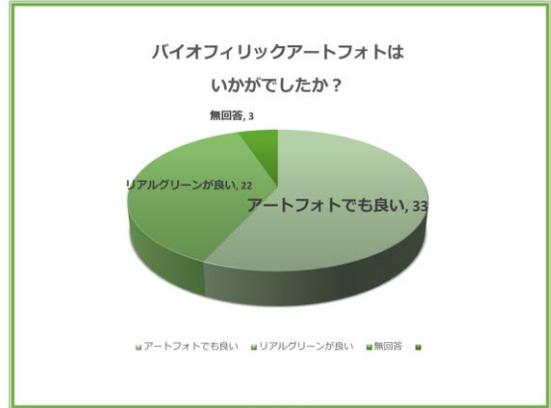
05 アンケート調査集計

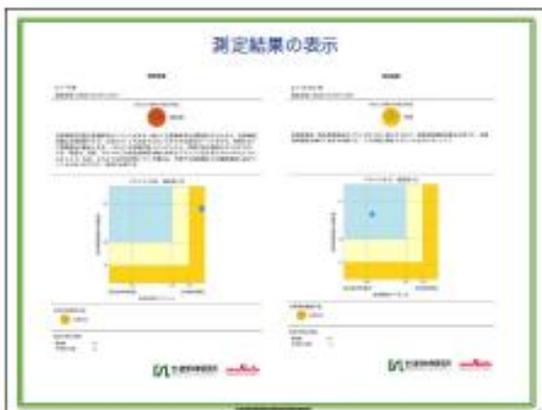
PROJECT
2024-16



05 アンケート調査集計

PROJECT
2024-17





体験方法
「脳シェルター」でストレスチェック

事前・当日予約制 (1人約15分)
Before測定+5分間体験+After測定+結果解析



「脳シェルター」体験者の測定結果

合計体験者数:53名
(男性30名、女性23名)

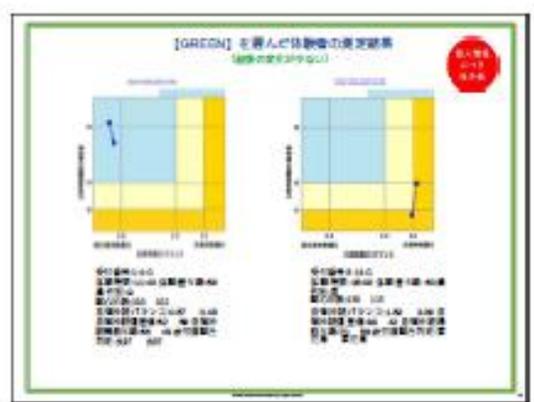
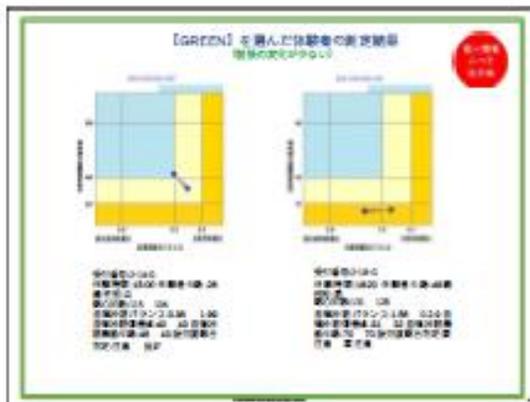
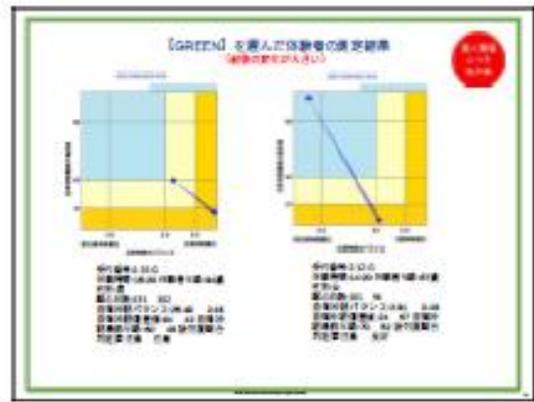
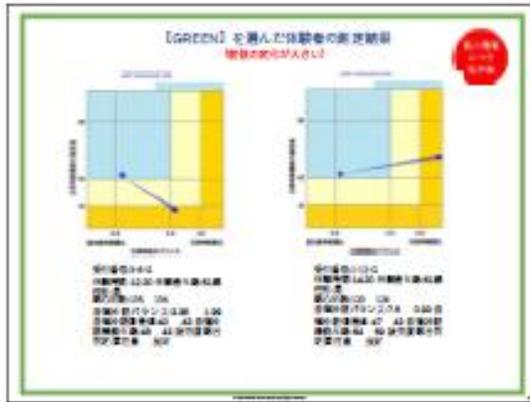
20代-	30代-	40代-	50代-	60代-	70代-
9名	7名	12名	17名	7名	1名

【GREEN】の体験者

小計人数 29名
(男性 15名、女性 14名)

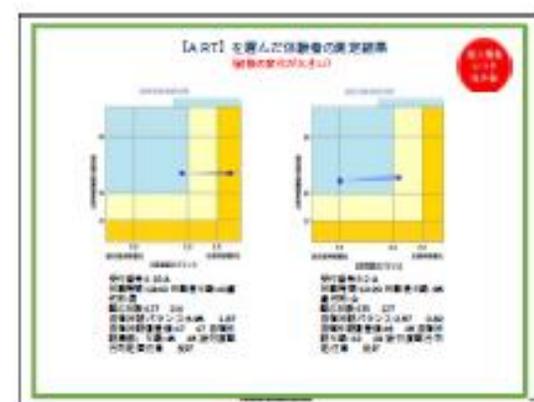
06 2019-2023年プロジェクトの変遷

PROJECT
2023-03



【ART】の体験者

小計人数 24名
(男性 15名、女性 9名)



体験方法 90秒で疲労度測定

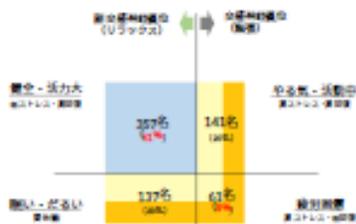
予約不要、当日順番待ち (1人約3分)
90秒測定+結果解析

「90秒疲労度チェック」の測定結果

合計参加者数: 696名
(男性355名、女性341名)

20歳以下	20代-	30代-	40代-	50代-	60代-	70代-
33名	192名	97名	120名	155名	53名	47名

90秒疲労度測定参加者の結果集計 (概要)



※本事業開始前、同社メンバーのコメント:
最近の業績が、これはベスト・レスポンスに集中して取り組むことで、社内の業務を要する。
参加者のストレス程度は結果から見て、シラックスを飲んでいる人が半数以上、5.015人のうち、1人からは「疲労感」になっていることからもわかる。

出展報告書

SDGsWeek EXPO

エコア2022

12月7日(木)・9日(土) 10:00~17:00

会場 東京ビッグサイト(東ホール)

主催 トーセイテクノロジーズ株式会社、日本経済新聞社

2022年12月7日~9日に開催された、「SDGsWeek EXPO-エコア2022」は、皆様のご来場・ご来客の元、大好評で終了できました。多くの方にご体験いただいたストレスチェックのアンケートをまとめたレポート、展示会の様子と撮影結果を合わせて、ご報告させていただきます。ご閲覧よろしくお願ひ申し上げます。

2022.12.16(水) 株式会社トーセイテクノロジーズ

SDGsWeek EXPO 2022

出展企業

出展 日本経済新聞社より提供済み (50企業)

共同 出展の企業様

- *株式会社ダニエル *株式会社プロキット *あまひ、株式会社
- *リンクワークシステム株式会社 *マジックドームハウス株式会社
- *ファウンダー・ライト株式会社 *TSD&P株式会社

ご協力頂いた企業様

- *広瀬建設株式会社 *日本ペイント株式会社

出展テーマ 監シスターでストレスチェック体験

展示内容 新しい「個別・ストレス測定計」を使い、実演でストレスチェックの体験イベントを実施。アートとグリーンを備え、効果を促進。

出展会場 会場裏の予約制、1人1台貸出制、アナリティクスより測定結果の解説あり

出展ブース 最先端システム素材の六角ドーム (約6m) で、同様のデジタルロード体験が楽しめる。

ブースレイアウト

協賛・協力企業の宣伝ポスター

「監シスター」IA RT

「監シスター」IA RT
最先端システム素材の六角ドーム (約6m) で、同様のデジタルロード体験が楽しめる。

新しい測定機器
疲労ストレス計MF100
by 株式会社村田製作所

「疲労ストレス計MF100」3つの特徴

- 疲労を客観的に見える化
数値的指標のあるアルゴリズム
- 評価値で話便な測定
変動幅でセンサを簡単に2種類に選べるだけ
- 心拍変動を高精度に測定
電気・光学2方式により
心動/脈拍を正確に測定し心拍変動分析

加齢や体調計りにより
ココロの状態を 見える化

ART & GREENの空間
癒し効果の傾向について

自律神経機能のバランス解析グラフ

ART空間を体験した別定数集の全体傾向
[体験者数: 27人]

ARTの空間は、長時間の休憩による疲労ストレス状態の変わりが少ない、むしろ、やる気が目立つという効果が見られる。

GREEN空間を体験した別定数集の全体傾向
[体験者数: 25人]

GREENの空間は、長時間の休憩でも疲労ストレスが緩和された傾向が見える。休憩中は疲労が蓄まってダメージを蓄積するゾーンに入っていた方が多い。休憩後はやる気とリラックスがバランスよく取れてきた傾向があると考えられる。

小規模体験展示会「ストレスとインテリア」

2009年町田ひろ子アカデミーはインテリアにおけるコーディネートの科学的根拠を追求し、広くこの分野の重要性を理解してもらうため、『Evidence based Design Orient®』の名称で商標登録しました。その実験方法のつがストレスチェックです。
2014年に英国ロンドン大学神経生物学研究所が発表した「神経美学」という考え方。「人は美しいものを見ると脳の血流量が増加し、認知症の進行を遅らせる可能性がある」という神経美学の知見をインテリア空間に活用する、エビデンスデータの為の実験を行っています。
下記は2020年11月16日～12月25日までの体験展示会の調査報告です。

株式会社町田ひろ子アカデミー 代表取締役 町田ひろ子

Art in Residence

東京国立博物館所蔵の日本画を中心に鑑み、建物の数、その構造要素は江戸初期に完成し、差別はもたれぬ、たがうワークスペースを上げインテリア。



『寛永西洋草花図屏風』
江戸時代 17世紀
27.5cm x 110.0cm
東京国立博物館蔵

小規模体験展示会 「ストレスとインテリア」

会期：2020年11月16日（火）～12月25日（金）
会場：町田ひろ子アカデミー東京校

協賛：株式会社、デザイン、グラフィック、建築設計、インテリアコーディネーター協会

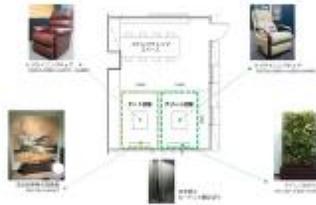
Mindful Sanc.

正式名「Mindfulness Sanctuary」

マインドフルネスとは、現状を捉えること
が最も大切で、感情の起伏、思考が
繰り返さることを許す。
意識的に心と息を調えることで心で
意識、マインドフルネスとしての心
を集中させる。生活のあらゆる場
面で実践できる。



体験展示会プラン



フレッシュグリーンの空間



町田ひろ子アカデミーの感性価値

アート
+
LED照明
+
香り

ストレスチェック
わずか5分
エビデンスデータを集計

町田ひろ子アカデミーの感性価値

フレッシュグリーン
+
LED照明
+
自然音BGM
+
香り

小規模体験展示会「ストレスとインテリア」
体験展示会アンケート 結果報告（2020年11月）

項目	回答数	有効回答数	有効回答率	平均値	標準偏差
Q1. 展示会の開催場所について	100	95	95%	4.2	0.8
Q2. 展示会の開催日時について	100	95	95%	4.5	0.7
Q3. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.8	0.6
Q4. 展示会の開催場所について	100	95	95%	4.3	0.7
Q5. 展示会の開催日時について	100	95	95%	4.6	0.6
Q6. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.7	0.5
Q7. 展示会の開催場所について	100	95	95%	4.4	0.7
Q8. 展示会の開催日時について	100	95	95%	4.5	0.6
Q9. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.6	0.5
Q10. 展示会の開催場所について	100	95	95%	4.3	0.7
Q11. 展示会の開催日時について	100	95	95%	4.4	0.6
Q12. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.5	0.5
Q13. 展示会の開催場所について	100	95	95%	4.2	0.7
Q14. 展示会の開催日時について	100	95	95%	4.3	0.6
Q15. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.4	0.5
Q16. 展示会の開催場所について	100	95	95%	4.1	0.7
Q17. 展示会の開催日時について	100	95	95%	4.2	0.6
Q18. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.3	0.5
Q19. 展示会の開催場所について	100	95	95%	4.0	0.7
Q20. 展示会の開催日時について	100	95	95%	4.1	0.6
Q21. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.2	0.5
Q22. 展示会の開催場所について	100	95	95%	3.9	0.7
Q23. 展示会の開催日時について	100	95	95%	4.0	0.6
Q24. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.1	0.5
Q25. 展示会の開催場所について	100	95	95%	3.8	0.7
Q26. 展示会の開催日時について	100	95	95%	3.9	0.6
Q27. 展示会の開催内容について	100	95	95%	4.0	0.5
Q28. 展示会の開催場所について	100	95	95%	3.7	0.7
Q29. 展示会の開催日時について	100	95	95%	3.8	0.6
Q30. 展示会の開催内容について	100	95	95%	3.9	0.5



【結果】（体験展示会の結果）

1. 展示会の開催場所について
2. 展示会の開催日時について
3. 展示会の開催内容について
4. 展示会の開催場所について
5. 展示会の開催日時について
6. 展示会の開催内容について
7. 展示会の開催場所について
8. 展示会の開催日時について
9. 展示会の開催内容について
10. 展示会の開催場所について
11. 展示会の開催日時について
12. 展示会の開催内容について
13. 展示会の開催場所について
14. 展示会の開催日時について
15. 展示会の開催内容について
16. 展示会の開催場所について
17. 展示会の開催日時について
18. 展示会の開催内容について
19. 展示会の開催場所について
20. 展示会の開催日時について
21. 展示会の開催内容について
22. 展示会の開催場所について
23. 展示会の開催日時について
24. 展示会の開催内容について
25. 展示会の開催場所について
26. 展示会の開催日時について
27. 展示会の開催内容について
28. 展示会の開催場所について
29. 展示会の開催日時について
30. 展示会の開催内容について
31. 展示会の開催場所について
32. 展示会の開催日時について
33. 展示会の開催内容について
34. 展示会の開催場所について
35. 展示会の開催日時について
36. 展示会の開催内容について
37. 展示会の開催場所について
38. 展示会の開催日時について
39. 展示会の開催内容について
40. 展示会の開催場所について
41. 展示会の開催日時について
42. 展示会の開催内容について
43. 展示会の開催場所について
44. 展示会の開催日時について
45. 展示会の開催内容について
46. 展示会の開催場所について
47. 展示会の開催日時について
48. 展示会の開催内容について
49. 展示会の開催場所について
50. 展示会の開催日時について
51. 展示会の開催内容について
52. 展示会の開催場所について
53. 展示会の開催日時について
54. 展示会の開催内容について
55. 展示会の開催場所について
56. 展示会の開催日時について
57. 展示会の開催内容について
58. 展示会の開催場所について
59. 展示会の開催日時について
60. 展示会の開催内容について
61. 展示会の開催場所について
62. 展示会の開催日時について
63. 展示会の開催内容について
64. 展示会の開催場所について
65. 展示会の開催日時について
66. 展示会の開催内容について
67. 展示会の開催場所について
68. 展示会の開催日時について
69. 展示会の開催内容について
70. 展示会の開催場所について
71. 展示会の開催日時について
72. 展示会の開催内容について
73. 展示会の開催場所について
74. 展示会の開催日時について
75. 展示会の開催内容について
76. 展示会の開催場所について
77. 展示会の開催日時について
78. 展示会の開催内容について
79. 展示会の開催場所について
80. 展示会の開催日時について
81. 展示会の開催内容について
82. 展示会の開催場所について
83. 展示会の開催日時について
84. 展示会の開催内容について
85. 展示会の開催場所について
86. 展示会の開催日時について
87. 展示会の開催内容について
88. 展示会の開催場所について
89. 展示会の開催日時について
90. 展示会の開催内容について
91. 展示会の開催場所について
92. 展示会の開催日時について
93. 展示会の開催内容について
94. 展示会の開催場所について
95. 展示会の開催日時について
96. 展示会の開催内容について
97. 展示会の開催場所について
98. 展示会の開催日時について
99. 展示会の開催内容について
100. 展示会の開催場所について

